

# FIGARO

フィガロジャパン

*japon*

6/5  
500  
yen

魅惑のトロロへ。

異国情緒と青い海が待っている

フィガロ旅シリーズ・完全保存版



真夏のエスプリ  
光る服、透ける服。

MODE  
最新。ブレッツ。ピーは、  
スイートな正統派。

スタイルのある東京レストラン。

6/5 2001  
N°204



Photo: Hiroshi Okada



異国情緒と青い海が待っている

# 魅惑のトルコへ。

- 28 **イスタンブール**  
コーランが響くモザイクの街は、東西の文化が渦巻く活気に溢れて。
- 36 トルコの旅をさらに盛り上げる、異国情緒溢れるホテル&レストラン。
- 42 **ブルサ**  
緑豊かな温泉街のハمامで、旅の疲れも癒される。
- 46 **カッパドキア**  
洞窟のホテルの窓から、岩が織りなすパノラマに息をのむ。
- 52 **サフランボル**  
石畳のつづく小さな村は、なつかしい空気に包まれて。
- 58 **アンタルヤ**  
中世の面影を残す旧市街に、ヴァカンスの人々の歓声が響き合う。
- 62 **カルカン オルデニス**  
どこまでも続く青い海に、ドラマティックな夏時間が流れる。
- 64 **ボドルム**  
芸術家の愛したリゾートで、最上の食卓を囲む至福のひと時。



- 70 **エフェス クシャダス**  
エーゲ海を讃えるように建つ、神殿の美しさに乾杯!
- 72 **シリンジエ**  
遺跡巡りをしながら味わう、トルコワインや布を思い出に。
- 74 **イズミール チェシュメ パルチョヴァ**  
地中海の旅の終わりは、泥エステ・天然泉が嬉しい。

## MODE

- 118 **最新プレッピーは、スイートな正統派。**
- 126 **光る服、透ける服。**

## INTERVIEW

- 146 美しきダンサーたち  
熊川哲也×アダム・クーパー

## DOCUMENT

- 152 ソニア&ナタリー・リキエル  
母から娘へ、娘から母へ。
- 156 パリで話題のレザネ・ポップ。

## CUISINE

- 160 新鮮ハーブで、爽やかメニュー。

## 女の視点

- 162 クラシックコンサートへ出かけよう。

## とじ込み付録

- 91 **スタイルのある、東京レストラン。**

## ACTUALITE

- 133 アンтониオ・ガナーレス アランコ建築家
- 135 ソウライヴ ニューズピッチ
- 137 マノロ・ブランコ 靴デザイナー

## SERIES

- 15 パリ毎日使 146
- 17 マダム・フィガロの最新クリップ 16
- 77 いいもの見つけた
- 85 ワールド・ウォッチ
- 89 パリの甘いお話 9
- 100 チャオ! 小さなイタリア 9
- 111 モードとアートの交差点 5
- 113 黒田恭一のたのしい音楽 25
- 114 今月おすすめの映画、演劇、音楽、美術、本也
- 139 来日した人
- 171 ヌーボー/最新情報とプレゼント
- 177 協力店リスト
- 182 元気のでる星占い
- 186 すく駆けつけたい、店・空間。

フィガロジャポン  
2001年6月号, Vol.12 No.10 (通巻204号)  
株式会社フィガロ・エース・ブリタニカ 〒103-6940 東京都港区新橋1-24-12  
発行人 飯田幸一  
総編集長 飯田幸一  
編集長 石川栄子

Art Designers  
大塚英一郎 鈴木 雄  
Art Associates  
大沼悠子 室井美佐枝 田伏美恵 山口 香(Gard) 加藤ひとみ

Figaro Japon is published under the supervision of  
Madame Figaro International  
International Director: Patrick Moxau  
Picture Editor: Sylvie Soulier-Bleis  
Advertising Coordinator: Nathalie Geron  
63, rue Montmartre-75002  
Paris FRANCE  
Tel: (33-1)42 21 28 47 Fax: (33-1)42 21 28 54  
by agreement with

Madame Figaro France  
President: Yves de Chaisemartin  
Director: Jean-Marie Dum  
Chief Editor: Marie Claire Pauwels  
印刷・製本 大日本印刷株式会社  
ASSOCIATE DU FIGARO 2001 ©FBS-BRITANNICA Co., Ltd. 2001  
本誌掲載の記事・写真、イラストの無断転載を禁じます。

# 古城ホテルの夢のステージで綴る、夏のドラマ。

テラスに立つと、ボドルムの街がまるで手のひらに乗ったかきこりなほど、小さく見える。右辺りの重厚な石が切り取って見えるこの眺めは、中世の物語りのワンシーンのようだ。時間ごとには流れるコーランさえもはるか下方に隠れてしまふ。ここがまさに特別な場所であることが強調されるように、遠くにかすむ街は世帯にまみれた下界のまろに思えてくる。そんな懐かしさを思わせる白く輝く石のストーリーを作って、心の中をこっそり遊んでみる。

## 中世の古城のような宿

ボドルムのマリーナから車で20分の千石のボドルム半島の歴史地区には、そんな

な非日常的な懐かしさが凝縮されている。ホテルが思いついたら個人のウィラだった。そんなスケールの大きなサマーハウスが講義に軒を並べ、個性的なホテルやレストランがひびこり存在する。中世の古城を模したアダ・ホテルはその代表的な存在だ。魅力的な場所には、想像力を刺激する懐かしみが中心とこころにちりばめられている。

以前はイスタンブールに住んでいた、というレストランのマネージャーは、「ここにはすべてがある」と笑顔で言う。洪水のような情緒に振り回されるのをしばしば休むことで、今日のストーリーの舞台を見つければ、海辺の小道を散歩してみましようか。

アダ・ホテル中世のアーチの向こうに、ボドルム山脈と海。建物の一室がフレームとなり、眺める風景を切り取って見せる。



リゾートの粋をプラスした、エキゾチックなホテル

### アダ・ホテル Ada Hotel

小さい丘の上に建てられたシャトーホテル。外観は16世紀頃のヨーロッパの古城をイメージ。コロニアル調に演出された空間にトルコを始めアジア、ヨーロッパなど全世界から集めたアンティークの家具たちがシックに調和。各部屋へは、教室内の中庭を散歩しながら進む、ドラマティックな空間演出は、滞在する人を何世紀も昔のヒロインの気分させてくれること請け合ひだ。この個性的なホテルは、世界のリゾートホテルを体験したオーナーが、それぞれの魅力も巧みに組み合わせ理想の宿に完成。オープン1999年、ホテルファンの間で噂のエキゾチックなホテルだ。



上: ホテル内のハمامに隣接しているリラクゼーションルーム。個室ではさまざまなマッサージを受けることができる。右下: プレジデンシャルスイートのダブルルーム。右: 小物の使い心地抜群のセンスのよき家具。



Beğarın Mah. Tepecik Cad. 126 Göl-Türkçüki Bölümü  
T:0252-377-5915  
FAX:0252-377-5379  
全14室 全室バスカシワー付8  
デラックスルーム195ドル〜245ドル  
プレジデンシャルスイート375ドル〜475ドル  
朝食込み  
カーディン、D、M、V  
ホームページ: www.adahotel.com